

# 四国の生コン技術力活性化委員会【第3期】の活動方針

## 1. 委員会の目的

初めての試みとして生コンに特定した研究委員会を2012年に立ち上げ、生コン工場の技術力の活性化および向上を目的として活動した。本委員会では各県の委員が自らテーマを考え、実証するための実験を行った。また、その成果を公表することにより技術力の向上に役立ったのではと考え、委員を再公募し2014年に第2期委員会をスタートした。第1期委員会では、当初の計画どおり各県1編ずつ計4編をJCI年次大会2014で発表することができた。さらに、成果報告論文集を作成し報告会を行い、生コン工場にとって身近に思え、かつ役立つ情報を提供することができた。第2期委員会でも身近なテーマに着目し、その成果として成果報告会の開催およびJCI年次大会2016論文集に6編を投稿することができた。このように本委員会は、四国の生コン工場の技術的活動の活性化に微力ながら寄与したのではと考えている。しかし、技術的活動は継続性が重要である。本委員会第3期として委員を再公募し、さらなる活性化に向け活動することを目的とする。

## 2. 委員会構成案

委員は、学会誌「コンクリート工学」5月号で公募する。各県の生コン工業組合あるいは組合員生コン工場に所属している技術関係者2～3名を基本とする。材料メーカー等からの応募があれば受け入れる。委員の選抜は委員長が行う。

委員長を橋本親典（徳島大学）、幹事長を古田満広（香川県生コン工組）とする。

## 3. 活動内容

### 2016年度

- ・ テーマを決定
- ・ 実験の実施

### 2017年度

- ・ 必要に応じ追加実験
- ・ 論文として取り纏め
- ・ 成果報告会

成果報告として論文をJCI年次大会2018,あるいは全生連主催第20回生コン技術大会(2019年)に投稿する。

以上